

学校名		唐津市立佐志中学校				
-----	--	-----------	--	--	--	--

1 前年度 評価結果の概要	・「佐志中学校に入学してよかった」に肯定的な回答は生徒95%、保護者91%であった。今年度も生徒・保護者ともに90%を超えることを目指す。 ・校内研での全員公開授業等、職員一丸となって学力向上に向け授業改善に取り組んだものの、各教科において十分な基礎・基本の定着までは至らなかった。現状をしっかりと分析し、学力向上に向けさらに研究を推進していく。 ・スマホの利用時間の長さは全国調査の結果からもうかがえ、家庭学習の充実にも影響を与えていると思われる。「スマホの利用時間2時間以内、睡眠時間7時間以上」についてのアンケート結果は生徒57%、保護者40%と依然低く、スマホ利用に対する生徒の意識改善と家庭との連携強化を図ることで、スマホ利用時間の縮減と望ましい生活習慣の形成を目指す。 ・教師による回答では、業務改善・働き方改革に対する肯定的な回答が94%と昨年を大きく上回った。今後も改善する余地や可能性のある業務を洗い出し、一層の改善を推進する。					
	2 学校教育目標					
	確かな学力を身につけ、健康で心豊かで、生きる力を持つ生徒の育成 －主体性の発揮－					
	3 本年度の重点目標					
(1) 学習指導の充実 (2) 人権・同和教育の実践と生徒指導の充実 (3) 開かれた学校づくり						

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価	
(1)共通評価項目							
	重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価
	評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)
●学力の向上		●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。		・	
		○意欲的に学習に臨む生徒の育成を図る	○話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたと回答した生徒を80%以上にする。 ○授業に一生懸命に取り組んでいる生徒を85%以上にする。	・「授業づくりのステップ1・2・3 Vol.2」を踏まえ、全教科半分以上の授業で「話し合う活動」を設定する。 ・「振り返り」を確実に設定する。			
		○家庭学習の習慣化	○毎日家庭学習に取り組む生徒を80%以上にする	・教材研究として授業と関連した課題の作成に取り組む。			
●心の教育		●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳性についてのアンケートで肯定的な回答をした生徒と保護者の割合をそれぞれ85%以上にする。	・平和や人権についての意識を高めるための授業や掲示に取り組む。 ・道徳の授業や生徒会活動による心の教育活動について学級通信などを通して保護者に発信する。		・	
		●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめアンケートで、学校の取組に肯定的な回答をした生徒・保護者の割合をそれぞれ85%以上にする。	・毎月心のアンケートを全生徒対象に実施する。 ・生徒指導部会(週1回)と生徒指導協議会(月1回)を通し、全職員で生徒に関する情報の共有と関わり方を検討する。		・	
		●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●◎「先生はあなたのよいところを認めてくれると思う」と回答した児童生徒80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童生徒60%以上	・授業や学校行事等で、生徒の意見を取り入れたり、生徒が主体的に活動したりする場面を設定し、学級等で承認する場をもつ。 ・就職や資格取得に関するリーフレット等を用いた進路学習を、全学年において行う。		・	
●健康・体づくり		●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に良い食事をしている」児童生徒70%以上 ○朝食をとって登校する児童生徒80%以上	・朝食の効果について、保健だよりや給食時間の放送を通して啓発を行う。 ・食育週間等に生徒に対し朝食に関するアンケートを取り、大切さを知らせていく。		・	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進		●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・会議等のペーパーレス化を推進し、会議等の効率化を図る。 ・部活動休養日の設定を徹底する。 ・部活動休養日を定時退勤日とする。		・	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目							
	重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価
	評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)
○SDG'sの推進		○全教科・領域において、SDG'sを意識した教育を展開する。	○3つ以上のSDG'sを意識して生活を送ることができている生徒の割合を70%以上にする。	・全教科・領域において、また教科横断的にSDG'sを扱う単元開発を積極的に行う。		・	
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育							

5 総合評価・ 次年度への展望						
	・					
	・					
	・					